



## 平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年8月4日

上場会社名 ころネット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6060 URL http://www.cocolonet.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 高紀  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 羽田 和徳 TEL 024-573-6556  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満は切り捨て)

### 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績（平成29年4月1日～平成29年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	2,694	△11.8	192	△40.1	204	△45.7	155	△52.6
29年3月期第1四半期	3,054	5.3	321	195.4	376	155.0	328	218.4

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 151百万円 (△50.8%) 29年3月期第1四半期 307百万円 (183.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	40.54	—
29年3月期第1四半期	85.44	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	20,736	8,770	42.3	2,282.21
29年3月期	21,043	8,696	41.3	2,262.85

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 8,770百万円 29年3月期 8,696百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,610	△2.7	320	△24.4	338	△35.1	226	△40.7	58.86
通期	11,297	△3.2	753	△14.9	775	△23.5	523	△7.7	136.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期1Q	3,843,100株	29年3月期	3,843,100株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	125株	29年3月期	125株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期1Q	3,842,975株	29年3月期1Q	3,842,975株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(セグメント情報)	9
3. 施行件数の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の収益環境の改善が持続している他、堅調な雇用・所得情勢を受け、個人消費の持ち直しが見られる等、緩やかな回復基調にあります。当社グループの事業基盤となる福島県の経済は、一部に弱い動きがみられるものの東日本大震災からの復旧・復興への取組み等により、緩やかな回復を続けています。

このような環境下、当社グループでは、知名度・ブランド力の向上のためにWebを活用したプロモーション活動等を積極的に行いました。更に葬祭・婚礼事業における施設稼働率向上に向けた取り組みとして、施設におけるイベントの開催や団体・企業への訪問等、地域営業の推進を継続しました。また、4月には石材卸売事業、石材小売事業、生花事業、その他の装販部門の再編を行い、組織の効率化と経営資源の集中を図りました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,694百万円（前年同期比11.8%減）、営業利益は192百万円（同40.1%減）、経常利益は204百万円（同45.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は155百万円（同52.6%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであり、売上高については、セグメント間の内部売上高または振替高を除き記載しております。

なお当社は、事業子会社の経営統括を主たる目的とする純粋持株会社であり、各連結子会社からの不動産賃貸料収入、経営管理料収入及び配当金を主たる収益としております。一方で、各セグメント(各連結子会社)の営業費用には、当社に対する不動産賃借料及び経営管理料が計上されております。

#### ① 葬祭事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、死亡者数は微増傾向にあるものの、同業他社との競争は激化しており、また小規模葬儀の割合も増加傾向にあります。

このような状況の下、福島県内の企業に向けて「こころネットパートナー特典※」への新規加入営業及び既登録先従業員に対する認知度向上活動、並びに「健康」や「終活」をテーマとしたセミナーの開催等の地域営業を推進しました。また、葬儀施行後の法事受注・仏壇仏具等の販売及び互助会への再加入促進といったアフターフォロー営業を推進しました。その結果、売上高は1,340百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は58百万円（同25.1%減）となりました。

##### ※こころネットパートナー特典

加入いただいた企業様及びその従業員様が、当社グループで婚礼・葬儀の施行や墓石の購入をされる際に、割引等が受けられる制度です。

#### ② 石材卸売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、墓石の小型化や埋葬方法の多様化等により墓石需要の低迷が継続しました。

このような状況の下、インド・ベトナム加工墓石、国産材等の販売に注力しましたが、受注増加には至りませんでした。一方で、「KDDシステム※」による経費の削減に努めました。しかしながら、売上高は446百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は22百万円（同59.2%減）となりました。

##### ※KDDシステム

Kanno Design Databaseの略称で、約4,000件の墓石デザインや図面が登録されており、Web上から墓石の寸法、石の色、デザイン等を指定することで希望のお墓を検索できるシステムです。取引石材店様のお客様への商品提案に役立つだけでなく、商品発注作業をスピーディーに行うことができます。

#### ③ 石材小売事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、一部で墓じまいの動きが見られる等、埋葬意識の多様化が進んだこと等により墓石需要の低迷が継続しました。

このような状況の下、耐震構造墓石やインド加工墓石の販売、寺院への永代供養塔の提案に注力しましたが、新規建立件数は前年を下回りました。その結果、売上高は256百万円（前年同期比20.7%減）、営業利益は14百万円（同40.5%減）となりました。

④ 婚礼事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、婚礼施行件数が減少傾向にある中、婚礼ニーズの変化や同業他社の新規出店もあり、厳しい事業環境が継続しました。

このような状況の下、4月に福島県郡山市に少人数婚礼会場「KAI KORIYAMA」をオープンし、また、Webプロモーションや婚礼情報収集の強化等により集客力のアップに努めました。しかしながら、売上高は492百万円（前年同期比31.6%減）、営業損失は4百万円（前年同期は営業利益67百万円）となりました。

⑤ 生花事業

当社グループが展開している営業エリアにおいて、生花需要は低調に推移しました。

このような状況の下、生花店や葬儀社等へのDMの発送等継続的なアプローチが、新規取引先の獲得や既存取引先からの受注増加に繋がりました。しかしながら、生花市場の相場安の影響等により、販売単価が減少しました。その結果、売上高は108百万円（前年同期比5.9%減）、営業利益は37百万円（同10.0%減）となりました。

⑥ 互助会事業

互助会事業につきましては、互助会会員による葬儀及び婚礼の施行件数増加を図るため、会員数の増加に努めました。その結果、売上高は0百万円（前年同期比39.7%減）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

⑦ 介護事業

介護事業につきましては、医療機関・居宅介護支援事務所との連携により、サービス付き高齢者向け住宅の入居率は高水準を維持しました。その結果、売上高は23百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は0百万円（同8.5%増）となりました。

⑧ その他

その他の装販部門につきましては、高単価商品の販売に注力するとともに、新たなエコ商品の販売も開始しました。その結果、売上高は25百万円（前年同期比39.5%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失1百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末に比べ131百万円減少し4,271百万円となりました。これは主に現金及び預金が減少したこと等によるものです。

(固定資産)

当第1四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し16,464百万円となりました。これは主に前払式特定取引前受金のための金銭供託預入により供託金が増加した一方で、減価償却費計上により建物及び構築物が減少したこと等によるものです。

(流動負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し2,485百万円となりました。これは主に短期借入金及び賞与引当金が増加した一方で、未払法人税等及び1年以内返済予定の長期借入金が増加したこと等によるものです。

(固定負債)

当第1四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末に比べ196百万円減少し9,479百万円となりました。これは主に長期借入金及び前払式特定取引前受金が減少したこと等によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ74百万円増加し8,770百万円となりました。これは主に配当金の支払いによる減少と親会社株主に帰属する四半期純利益155百万円に伴う利益剰余金の増加等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,593,091	2,237,071
受取手形及び売掛金	717,246	707,499
有価証券	150,831	151,373
商品及び製品	434,695	417,600
仕掛品	47,051	73,334
原材料及び貯蔵品	32,467	31,293
その他	522,621	749,433
貸倒引当金	△94,908	△95,995
流動資産合計	4,403,097	4,271,609
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,320,939	6,231,321
土地	4,961,311	4,845,690
その他(純額)	140,432	143,234
有形固定資産合計	11,422,683	11,220,245
無形固定資産		
のれん	141,645	138,124
その他	40,725	39,392
無形固定資産合計	182,370	177,517
投資その他の資産		
投資有価証券	1,676,095	1,678,533
営業保証金	640,004	631,758
その他	2,748,865	2,785,745
貸倒引当金	△29,991	△29,398
投資その他の資産合計	5,034,974	5,066,638
固定資産合計	16,640,027	16,464,402
資産合計	21,043,124	20,736,012
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	361,055	357,686
短期借入金	482,000	592,865
1年内返済予定の長期借入金	631,360	467,480
未払法人税等	270,342	36,714
賞与引当金	224,202	330,552
その他	701,629	700,535
流動負債合計	2,670,589	2,485,835
固定負債		
長期借入金	1,265,521	1,099,369
前受金復活損失引当金	45,997	38,478
資産除去債務	144,625	145,271
負ののれん	105,341	102,242
前払式特定取引前受金	7,828,827	7,813,885
その他	286,149	280,466
固定負債合計	9,676,461	9,479,713
負債合計	12,347,051	11,965,548

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	500,658	500,658
資本剰余金	2,032,312	2,032,312
利益剰余金	6,059,853	6,138,777
自己株式	△120	△120
株主資本合計	8,592,704	8,671,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	28,255	28,959
為替換算調整勘定	75,114	69,874
その他の包括利益累計額合計	103,369	98,834
純資産合計	8,696,073	8,770,463
負債純資産合計	21,043,124	20,736,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	3,054,336	2,694,490
売上原価	1,972,004	1,780,325
売上総利益	1,082,331	914,165
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	3,567	1,771
給料及び賞与	281,223	267,021
賞与引当金繰入額	60,873	61,569
退職給付費用	10,078	10,007
その他	405,431	381,499
販売費及び一般管理費合計	761,173	721,869
営業利益	321,158	192,296
営業外収益		
受取利息	8,207	5,749
受取配当金	1,769	1,809
負ののれん償却額	3,098	3,098
為替差益	18,571	3,124
掛金解約手数料	11,526	10,469
前受金復活損失引当金繰入額	—	3,254
その他	33,993	17,575
営業外収益合計	77,165	45,080
営業外費用		
支払利息	7,808	3,350
持分法による投資損失	1,941	1,148
前受金復活損失引当金繰入額	6,279	—
休止固定資産減価償却費	—	16,250
遊休資産諸費用	—	7,634
その他	5,402	4,372
営業外費用合計	21,430	32,756
経常利益	376,893	204,619
特別利益		
固定資産売却益	39	10,683
保険解約返戻金	46,475	—
特別利益合計	46,515	10,683
特別損失		
固定資産売却損	—	2,774
固定資産除却損	194	10,048
その他	—	694
特別損失合計	194	13,518
税金等調整前四半期純利益	423,214	201,785
法人税、住民税及び事業税	150,008	68,771
法人税等調整額	△55,133	△22,770
法人税等合計	94,875	46,001
四半期純利益	328,339	155,784
親会社株主に帰属する四半期純利益	328,339	155,784



(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	328,339	155,784
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,411	704
持分法適用会社に対する持分相当額	△17,629	△5,239
その他の包括利益合計	△21,040	△4,534
四半期包括利益	307,299	151,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	307,299	151,249
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結累計期間における特定子会社の異動はありません。

当第1四半期連結累計期間において、連結子会社であるカンノ・トレーディング株式会社を分割会社、連結子会社である石のカンノ株式会社を承継会社とする吸収分割をいたしました。同日付でカンノ・トレーディング株式会社は株式会社フルール、石のカンノ株式会社はカンノ・トレーディング株式会社に商号変更しております。

また、当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したこころeパワー株式会社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	1,362,500	490,075	323,722	719,306	115,315	283	23,761	3,034,965
セグメント間の内部売上高又は振替高	457	88,674	—	64,023	121,786	99,185	—	374,126
計	1,362,958	578,749	323,722	783,329	237,101	99,468	23,761	3,409,091
セグメント利益又は損失(△)	78,293	55,059	24,863	67,890	41,110	△1,527	310	266,000

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	18,620	3,053,586	750	3,054,336
セグメント間の内部売上高又は振替高	17,982	392,108	△392,108	—
計	36,603	3,445,694	△391,358	3,054,336
セグメント利益又は損失(△)	△1,965	264,034	57,124	321,158

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益355,492千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△294,000千円、セグメント間取引消去2,419千円、のれん償却額△3,119千円、その他の調整額が△3,668千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							
	葬祭事業	石材卸売事業	石材小売事業	婚礼事業	生花事業	互助会事業	介護事業	計
売上高								
外部顧客への売上高	1,340,180	446,590	256,693	492,314	108,537	171	23,278	2,667,766
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,942	16,306	—	58,822	121,543	93,550	—	292,164
計	1,342,122	462,897	256,693	551,137	230,080	93,721	23,278	2,959,931
セグメント利益又は損失(△)	58,680	22,443	14,784	△4,207	37,000	△1,676	336	127,361

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	25,973	2,693,740	750	2,694,490
セグメント間の内部売上高又は振替高	16,618	308,783	△308,783	—
計	42,592	3,002,524	△308,033	2,694,490
セグメント利益又は損失(△)	△1,659	125,702	66,593	192,296

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである装販部門等であります。

2 調整額の内容は以下のとおりであります。

(1) 外部顧客への売上高の調整額は、持株会社である当社の不動産収入であります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社利益527,421千円、各報告セグメントからの受取配当金の消去額△465,000千円、セグメント間取引消去3,241千円、のれん償却額△3,119千円、その他の調整額が4,050千円であります。なお、全社利益は、当社の主たる収益である各連結子会社からの経営管理料収入及び不動産賃貸料収入等によって生じた利益であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 施行件数の状況

当社グループのセグメントのうち主な事業である葬祭事業及び婚礼事業に係る葬儀、婚礼施行件数の当第1四半期連結累計期間における状況は次のとおりであります。

(1) 葬祭事業

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
	葬儀施行件数 (件)
株式会社たまのや 福島事業部	283
株式会社たまのや 郡山事業部	88
株式会社たまのや 会津事業部	137
株式会社たまのや 催事事業部	450
有限会社牛久葬儀社	69
合計	1,027

(注) 催事事業部における葬儀施行件数は、株式会社J Aライフクリエイト福島との業務受託契約による施行件数であります。

(2) 婚礼事業

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
	婚礼施行件数 (件)
株式会社With Wedding 福島事業部	48
株式会社With Wedding 郡山事業部	63
株式会社With Wedding 会津事業部	21
合計	132

(注) 上記施行件数については、パーティー・宴会等の施行件数は含まれておりません。